

令和6年度 第8回 豊田市稲武地域会議全体会 会議録

- 日 時 令和6年11月14日（木）午後7時00分～8時10分
- 場 所 稲武支所 団体会議室
- 出席者 委 員：安藤直人、今泉喜規、石橋佳子、櫻井麻沙子、佐々木祐次、
高崎太一郎、瀧澤育夫、土本隆雄、土屋桂子、中拓二、深見友和、
三江元博、宮島明菜
(欠席者)：海野浩、西尾昌直
事務局：梅村支所長、岡部副支所長、柄澤副主幹、原田主査

■次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 松原市議あいさつ
- 4 協議事項
(1) 提言検討について
- 5 報告事項
 - ・令和7年度わくわく事業の募集について
 - ・次期おいでん・さんそんプランの策定に向けた市民検討委員の推薦について
- 6 その他

■議事（要約）

4 協議事項

(1) 提言検討について

事務局から、前回の会議で提示した取組内容案を精査した資料を示し、それを基に取組内容について協議。

各委員からの意見は以下のとおり。

取組内容①について

- ・案①はとても面白いと思う。地域で実施できるかどうか分からないが、試してみるのには良いと思う。案②で出ている集落活動サポート事業は利用が組単位のため利用しにくい。組単位ではなく自治区単位で活動することが多いので、自治区として利用できるようになると利用しやすくなる。
- ・稲武太鼓は文化伝統の一つだが、稲武廻り太鼓クラブの活動メンバーが減ってきている。稲武廻り太鼓クラブを存続し、盛り上げるような内容を提言に入れていけると良い。
- ・小学校が運動会の平日開催を検討していると聞いた。小学校、中学校、こども園の合同運動会をやれば、準備などの負担も軽減されるし、地域の人も多く参加してくれるのではないかと。
- ・タカドヤ湿地の手入れなどの活動に、企業のボランティアが参加してくれている。もみじまつりの際も手伝いに来てくれた。地元の人だけでは活動していけないこともあるので、今後も参加してもらえると良いと思った。
- ・お役の時に集まれる人がいないので、案②のボランティアの受け入れがしやす

くなると非常に助かる。

取組内容②について

- ・ 中学校の部活動の地域移行が進んでいるが、学校から早めに情報を出してもらえると、地域としても関わっていける。地域会議でも話していることを学校にも知ってほしい。
- ・ 案①の他校との交流は、今まで教員同士の繋がりで実施していたため、交流したい学校が手を挙げて、マッチングするような制度が出来たら良い。
- ・ 多様な意見を交流させるオンライン学習は出来ると良いと思う。
- ・ 同じ年代だけでなく、中学生と大学生など、年代の異なる学校の交流も面白いと思う。
- ・ 昔は臨海学校があったと聞いた。山の子が海に行くのはすごく良いと思う。
- ・ 学校行事ではなく地域で海の家をやるといいのではないかな。

取組内容③について

- ・ 子どもを安心して預けられる場所というのは、以前からの稲武の課題。ソフト面でのハードルが非常に高い。
- ・ ソフトの案②の放課後児童クラブの制度緩和については、長期休暇のみの制度があると非常にありがたい。
- ・ 山間地ならではの事情を提言書に盛り込んでいくと良いかもしれない。

5 報告事項

- ・ 令和7年度わくわく事業の募集について
令和7年度のわくわく事業募集予定について報告。
- ・ 次期おいでん・さんそんプランの策定に向けた市民検討委員の推薦について
市民検討委員に深見副会長を推薦することを報告。

次回開催：令和6年12月19日（木）午後7時 稲武支所 団体会議室